

「(仮称)ケアハイツいたみ2号館建設工事に係る準備工事」の質問に対する回答について

回答日: 令和2年12月25日(金)

番号	図面	頁	質問(原文)	回答
1	建築 A-03	—	騒音粉塵等の対策として防音シートによる養生とありますが、今回工事が必要でしょうか。 解体範囲に植栽(伐根共)とありますが、別途で良いですか。	基礎等の撤去方法により協議するものとします。 伐根についてはお見込の通りですが、A-04除草については本工事に含まれます。
2	建築 A-04	—	仮設計画で万能塀(H:3000)設置となっておりますが、東面は隣地線上の既設杭撤去もある為、移動可能なフェンスバリケード また、北西面は既存フェンスもある為、同様にフェンスバリケード(H:1800)必要に応じシートにて養生と考えて宜しいでしょうか。	お見込の通り、南側のみ万能塀(H:3000)とし、東西両面はフェンスバリケード(H:1800)に必要な応じてシートで養生で可能とします。
3	建築 A-04	—	仮設計画において、万能塀H=3.0mは、敷地3方全て囲う計画でよろしいでしょうか。又、設置期間は、工事完了までと考えてよろしいでしょうか。 上記に伴い、工事完了後、木杭番線の新設は東側延長のみと考え、南側については、既存の復旧で考えてよろしいでしょうか。 交通誘導員については、大型車両搬入時のみの配置と考えてよろしいでしょうか。	万能塀については、南側のみ万能塀(H:3000)とし、東西両面はフェンスバリケード(H:1800)に必要な応じてシートで養生で可能とし、設置期間は工事完了までとします。 木杭番線についてはお見込の通りです。 交通誘導員については、原則として大型車両走行時のみの配置で可能とします。
4	建築 A-05	—	杭撤去方法は、杭回りケーシング設置⇒杭抜き⇒杭跡充填⇒地盤改良と考えてよいですか。	全てケーシングとするかオープン掘削併用とするかは協議によります。
5	建築 A-05	—	地盤改良の深さはH=1.5m(4・5・6号棟) H=1.0m(給水棟)でよいですか。	実際の撤去及び掘削深さまで地盤改良を行う必要があります。
6	建築 A-05	—	現場の土砂に固化剤を攪拌して埋戻しを行うのでしょうか。	A-05 ■埋戻土に記載の通りです。
7	建築 A-05	—	現場説明事項で解体撤去後の整地については土砂等の搬入は一切行わないことになっていますが、給水塔基礎撤去後は、コンクリート撤去数量分、埋戻しが必要ですが、整地のみで良いですか。	給水塔基礎撤去後、GL-600以上までA-05 ■埋戻土に記載の仕様で埋戻しの必要があります。
8	建築 A-06	—	4号棟の基礎深さも5・6号棟と同じと考えて良いですか。	お見込の通りです。
9	建築 A-07、08、09	—	各棟の現場高さはGLと考え、埋戻し高さもGLと考えて良いですか。	お見込の通りです。